

# 顧客視点を養い、 独立後の基礎を作った 監査法人時代

税務、会計ともに、年を追うごとに高度化・複雑化する傾向にある。さらに会計については、規制強化の影響から監査法人がクライアントにアドバイスをを行うことが難しくなっている状況だ。こうした中、企業の多様なニーズについて、専任の担当者が税務と会計両面からワンストップでアドバイスをを行い、成長を続けてきたのがクリフィックス税理士法人である。

クライアント数は大手の金融機関やIT企業、さらにはそのグループ企業に至るまで200社以上。約70名のスタッフを擁し、東京・赤坂にある高層ビルの5階にオフィスを構える。

「正直、独立当初から明確なビジョンや目標があったわけではありません。とにかく目の前の一つひとつの仕事をこなして次につなげる、この繰り返し。その結果が今につながっているとと思っています」と山田氏は謙虚に語る。

大学院在学中に公認会計士試験に合格。1990年に卒業し、中央青山監査法人(旧・中央監査法人)に就職すると、上場企業を中心とした一般的な監査業務に携わる。当時は監査法人にとって、いわば「古き良き時代」。通常の監査業務さえやっていたら十分す

クリフィックス税理士法人  
代表社員

公認会計士・税理士

山田徳昭 ● 45歳

oriaki @anada

ぎるほどの収益を上げていた頃である。

が、山田氏はそれに飽きたらず、金融機関の監査やベンチャー企業の支援業務にも取り組んだ。

「仕事の幅が広がると、当然、人間関係も広がります。この頃の人間関係や経験が、今でも大きな財産となっています。当時の上司や仕事仲間から、本当に多くのことを学びました。たとえば監査といっても、帳簿だけを見ていては企業の実態はわからない。企業が行っているビジネスそのものを把握し、その結果がどのように数値に表れているのかを理解することこそが重要です。それはクライアントの経営者が自社の数値を見る時と同じ視点です。ただ、

## Story of the Entrepreneur 会計業界の起・業・人

vol. 2

取材・文／荒浜 一 撮影／刑部友康

「顧客第二」の  
姿勢を貫き  
急成長を果たす  
税務・会計の両面から  
アドバイスを提供。



そうした経験を重ねるうちに、クライアントを疑ってかからなくてはならない可能性のある「監査」という視点より、あくまでも「クライアントサイド」の視点で仕事をしたいという気持ちの方が強くなっていました」

## 独立の決意と資格にこだわらないビジネスモデルの決定

中央青山で充実した会計士生活を送っていた山田氏だが、入社6年目に体調を崩して1カ月ほどの入院生活を余儀なくされた。

「入院時は9時消灯のため、自分の将来を見つめ直す時間ができました。そして自分のやりたいことは、やはりクライアントサイドに立ってアドバイスすることであり、クライアントに感謝してもらおうことだと確信したので」

山田氏はこの時に独立を考え始める。独立後のビジネスモデルも、こうした思いから自然と固まっていた。それは、会計士でありながら「監査」は行わない。その代わりに、「税務」を柱とするというものだった。

「会計士資格にこだわるつもりはありませんでした。クライアントの税務ニーズが高かったので、独立当初は税務の知識を深めることに専念しました」

97年に独立した後は、監査法人時代

の上司・友人などからの紹介で、比較的順調にクライアントが増えていった。その過程で、上場企業の関係会社の場合、税務のみならず会計アドバイスのニーズも高いことを感じたという。

「当社の担当者が税務と会計両面のアドバイスができるようになることこそが、クライアントの利益にかなうことだと思いました。それができれば、お客さまは1本の電話、1通のメールで双方にまたがる課題を解決できます。むしろ、一人の担当者が税務と会計の知識を高めるには、相当な努力が必要です。しかし、だからこそほかにはない価値があるのだと考えました」

山田氏が創業当初から意識した「クライアントの利益を第一に考える」、すなわち「Client First」の精神からすれば、当然の帰結だった。

税務と会計両面のアドバイスを提供するという方針に加えて、常にクライアントのニーズを満たそうという姿勢は高く評価され、ある企業が顧客になると、その企業からグループ企業を紹介されるという好循環が相次いだ。こうしたプロセスを経て、顧客数は急拡大。スタッフ数も急増した2003年に事務所を法人化し、現在のクフィックス税理士法人となった。

「はたから見ると順風満帆に見えるかもしれませんが、決してそんなことは

ありません。お客さまがグループ会社を紹介してくれて広がっていった場合、そのうち1社でもミスをするとそのグループ会社からの信用をすべて失いかねない。常にそうした緊張感がありました。独立してから今までの間、楽だと思ったことは一度もありません」

「規模拡大よりも、業務のクオリティの面で、そして顧客の満足度という点で常に最高の評価を受ける法人でありたいと思っています。また、そうした目標を掲げることができるのは、クライアントのために努力を惜しまない当社のパートナーやスタッフがいてくれるからこそ。周りで支えてくれた友人・知人なども含めて、人間関係の大切さをいつも意識していますし、そこに自分の原点があると思っています」



### Profile

1965年3月15日 東京都豊島区生まれ  
1988年3月 慶應義塾大学商学部卒業  
1989年9月 公認会計士第二次試験合格(会計士補登録)  
1990年3月 慶應義塾大学大学院商学研究科(会計学)修士課程修了  
1990年4月 中央監査法人(後、中央青山監査法人)入所  
1993年3月 公認会計士登録  
1997年7月 公認会計士山田徳昭事務所設立  
2003年1月 クフィックス税理士法人設立、代表社員に就任  
家族構成=妻と娘2人(11歳と6歳)の4人家族

Story of the entrepreneur

会計業界の起業人

16

vol. 1

節目は10年ごとにやってくる。  
時代の風を読み、  
チャンスと見れば打って出る

社・本郷税理士法人 理事長

**本郷孔洋**



vol. 2

税務・会計の両面から  
アドバイスを提供。「顧客第一」の  
姿勢を貫き急成長を果たす

クリフィックス税理士法人 代表社員

**山田徳昭**

20 公認会計士協会の取り組み  
日本公認会計士協会 近畿会

Accountant's Opinion

vol. 1

公認会計士はいかにあるべきか

経済・金融・経営評論家 / 前金融監督庁(現金融庁)顧問

**金見 昭**

22



会計プロフェッションのヒューマンドキュメント誌

# Accountant's

[アカウンタンツマガジン]

創刊号

magazine 1  
August 2010  
vol.

Biographies of Great Person

会計士の肖像

日本公認会計士協会 前会長(現相談役)

**増田宏一**

Story of the entrepreneur

社・本郷税理士法人 理事長

**本郷孔洋**

クリフィックス税理士法人 代表社員

**山田徳昭**

